



日薬連

低炭素社会実行計画の取り組み

2022年2月25日（金）

経団連低炭素社会実行計画への対応



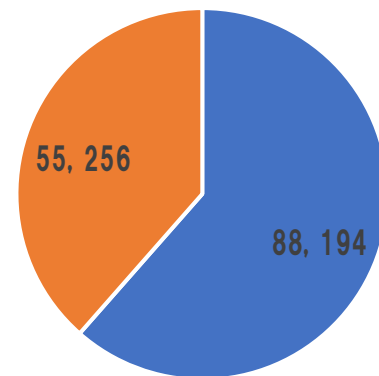
- 日薬連低炭素社会実行計画の目標策定
- 以下9団体の会員企業を対象に低炭素社会実行計画の推進状況の調査を実施
 - 日本製薬工業協会
 - 日本OTC医薬品協会
 - 日本ジェネリック製薬協会
 - 輸液製剤協議会
 - 日本漢方生薬製剤協会
 - 医薬品製剤受託協会
 - 外用製剤協議会
 - 日本医薬品直販メーカー協議会
 - 日本ワクチン産業協会
- 調査結果をもとにフォローアップ報告書を作成し、経団連及び厚労省に提出
- 集計したデータを共有

日薬連 低炭素社会実行計画対象企業



	フォローアップ 対象企業	日薬連 傘下企業
業態別 団体数	9団体	15団体
企業数	88社 (30.1%)	292社
売上高	88,194億円 (61.5%)	143,450億円

売上高（億円）



全体の約6割

対象事業場

	工場	研究所	合計
集計対象事業所	237	97	334

省エネ法 指定工場等	事業所数	備考
第1種	121	原油換算3,000KL以上
第2種	56	原油換算1,500KL以上3,000KL未満
無指定	85	原油換算1,500KL未満
合計	262	

約3分の2が指定工場等

フェーズⅠ	2020年度の二酸化炭素排出量を、2005年度排出量を基準に23%削減する。
フェーズⅡ	2013年度を基準に、2030年度の二酸化炭素排出量を46%削減する。

2021年度に見直し

- 業界団体・企業 : 日薬連傘下の15業態別団体の会員企業
- 対象事業所 : 研究所・工場（・オフィス・営業車両*2021年度追加）
- 対象エネルギー : エネルギー起源のCO₂

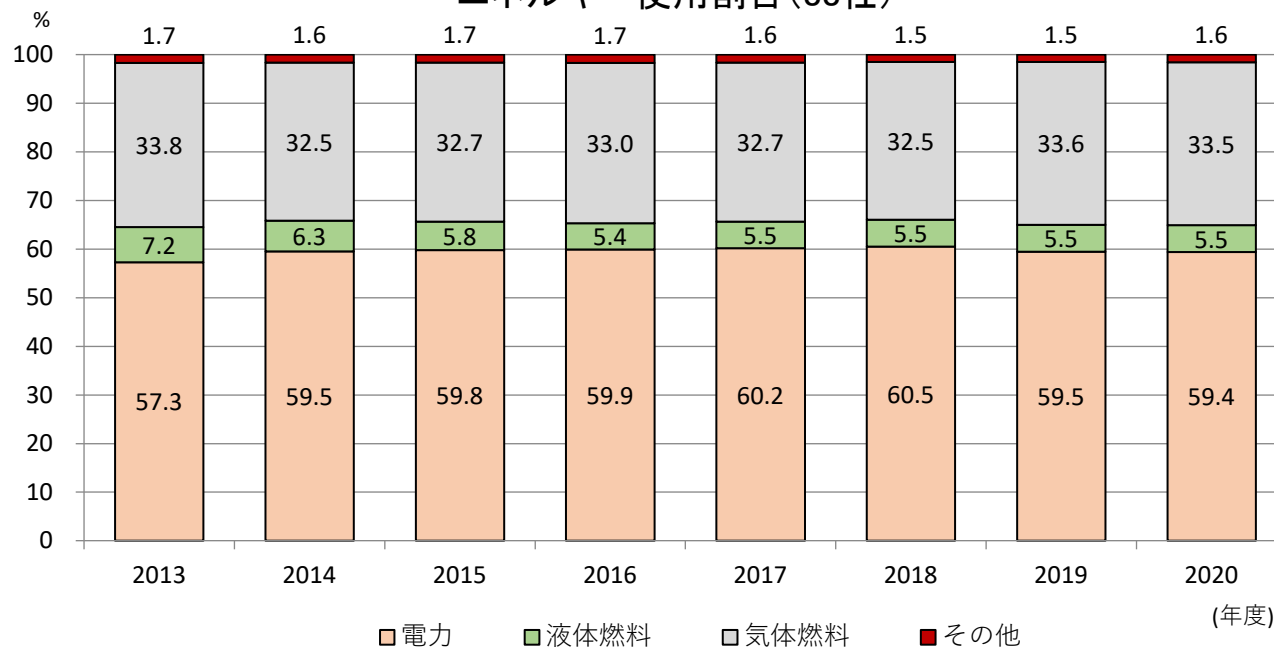
2020年度のフォローアップ調査結果



年度		2013 (基準年度)	2015	2016	2017	2018	2019	2020
売上高 (億円)		91,934	88,492	89,897	90,129	88,439	88,194	86,390
エネルギー消費量								
	原油換算値 (万kL)	116.5	113.9	114.1	117.3	115.9	112.1	111.4
	基準年度比	100.0	97.8	97.9	100.7	99.5	96.2	95.6
	原単位(kL/億円)	12.7	13.2	12.9	13.0	12.9	12.7	12.6
	原単位指数	1.000	1.040	1.017	1.029	1.015	1.000	0.997
CO ₂ 排出量								
	万 t -CO ₂	256.5	246.9	240.9	243.1	234.8	219.7	213.3
	基準年度比	100.0	96.2	93.9	94.8	91.5	85.7	83.2
	原単位(t -CO ₂ /億円)	27.9	28.6	27.2	27.0	26.1	24.8	24.2
	原単位指数	1.000	1.024	0.976	0.969	0.934	0.890	0.867

エネルギー別使用量推移

エネルギー使用割合(88社)



電力が約6割

主な増減理由

増加要因	減少要因			
施設の新築・増築	地球温暖化対策設備投資による変化	エネルギー使用の効率化	施設の統廃合	海外への生産シフト
9社	41社	36社	9社	1社

地球温暖化対策設備投資に
取り組む企業が多い

目標達成に向けた取り組み

- ・ 地球温暖化対策のための設備投資
 - ・ 高効率機器の導入（インバータ導入、変圧器・空調機更新、LEDなど）
 - ・ エネルギーロスの低減（機器及び配管への断熱、高効率HPなど）
 - ・ エネルギー転換（重油や灯油から都市ガス、電気など）
- ・ ソフト対策
 - ・ 温度、換気回数などの基準値の見直し
 - ・ 設備機器の運転・制御方法などの見直し

2020年度のCO2削減量の合計は
24, 617t-CO₂

今後の課題

売上高減少による
原単位の悪化

設備投資の
費用対効果の低下

温暖化による
クリーンルーム
電力使用量の増大

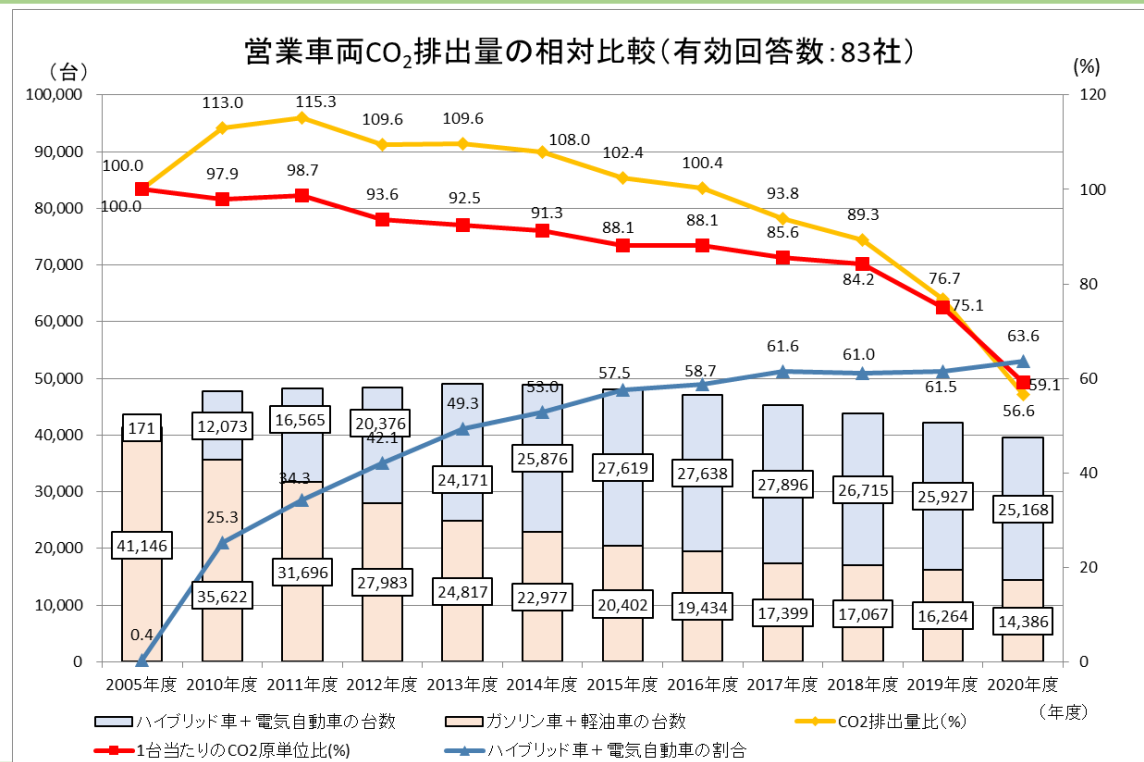
再生可能
エネルギーの活用

脱炭素化の
積極的な技術導入

その他の取り組み（営業車両への低燃費車導入）



日薬連



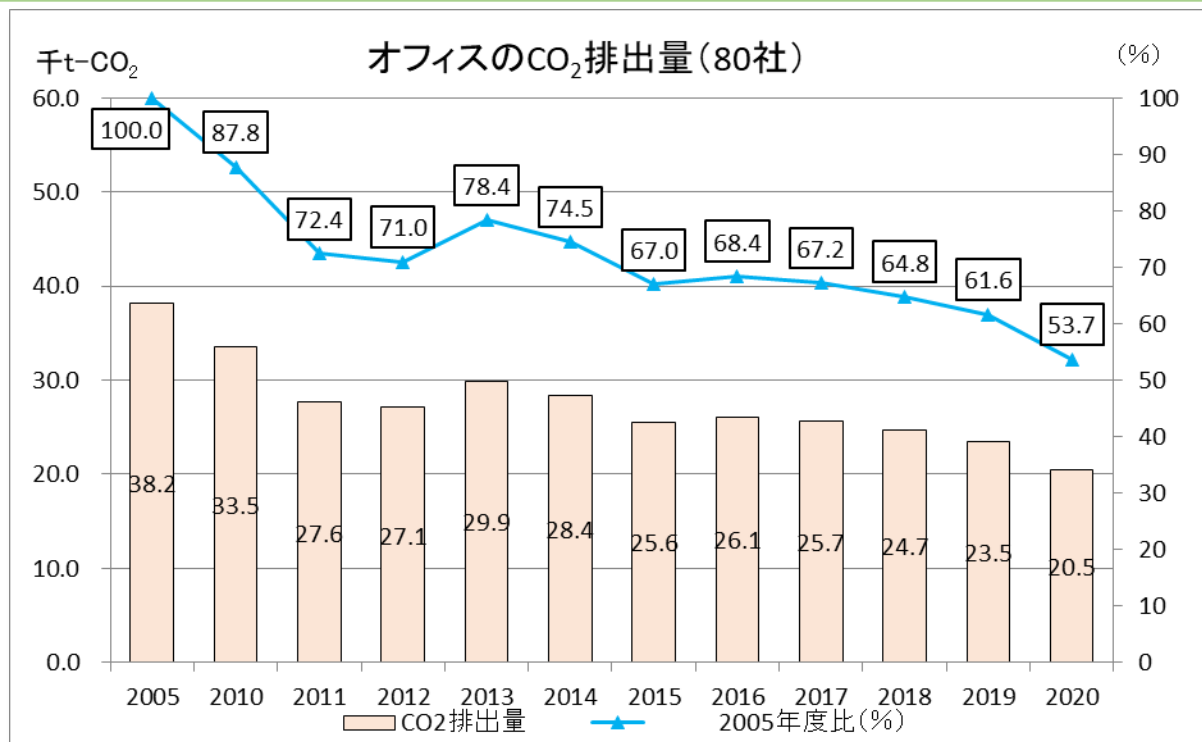
その他の取り組み（フロン排出量の削減）

年度	2000	2005	2010	2014	2015	2016	2017	2018	2019	2020
CFC合計量	169	11	使用せず	使用せず	使用せず	使用せず	使用せず	使用せず	使用せず	使用せず
CO ₂ 換算量 (万t-CO ₂ e)	152	10	0	0	0	0	0	0	0	0
HFC合計量	39	111	89	69	75	73	81	81	86	94
CO ₂ 換算量 (万t-CO ₂ e)	6	24	19	14	17	16	19	20	22	24
フロン合計量	208	122	89	69	75	73	81	81	86	94
CO ₂ 換算量合計 (万t-CO ₂ e)	158	34	19	14	17	16	19	20	22	24
2000年度比 (%)	100	21.9	11.8	9.0	10.9	10.2	12.4	12.7	13.6	15.2

その他の取り組み（オフィスの取り組み）



日薬連



『2050年カーボンニュートラル』への対応



日薬連

長期ビジョン

2050年CO₂排出量ネットゼロ

日薬連フェーズⅡ目標（2030年）

CO₂排出量を2030年度に2013年度比で25%削減
（研究所・工場）



CO₂排出量を2030年度に2013年度比で46%削減
（研究所・工場・オフィス・営業車両）

『2050年カーボンニュートラル』への対応



日薬連フェーズⅡ 目標（2030年）

CO₂排出量を2030年度に2013年度比で46%削減
（研究所・工場・オフィス・営業車両）

主な施策

1. 各団体が「2050年カーボンニュートラル」に向けたビジョン及び目標を開示する。
2. 会員企業へ「2050年カーボンニュートラル」に向けたビジョン及び目標設定を促す。
3. 目標設定企業名を各団体のHPに記載する。
4. 再生可能エネルギー及び脱炭素技術の情報共有と導入推進を図る。

2022年度より、「低炭素社会実行計画ワーキンググループ」
の名称を

「カーボンニュートラル行動計画ワーキンググループ」

とする。

以上